



鷹中だより



- ◇校訓「響（ひびき）～自分の心に みんなの心に～」
- ◇教育目標「自立 持続 感動」
- ◇重点目標「主体的に学び、判断し、表現できる生徒の育成」

TEL：87-2008 FAX：87-2104 MAIL：takachu@takasucho.ed.jp

2学期の終わりにあたって

校長 本田 明路

本日、82日間に及ぶ2学期の終業式を無事に迎えることができました。この2学期も大きな事故もなく過ごすことができたのも、ひとえに保護者の皆様や地域の皆様のおかげだと思っております。大変ありがとうございました。

さて、この2学期は、予定されていた鷹中祭などの行事を生徒たちが主体となって成功裏に終わることができたことは、大変うれしく思っております。また、この取組によってさらに成長した生徒たちの姿をご覧いただけたことは、大変喜ばしいことだと思っております。ありがとうございました。

学ぶか学ばないかで違いが生まれる

時代が大きく動き、混迷した明治初期にベストセラーとなった本があります。「天は人の上に人を造（つく）らず人の下に人を造らずと言えり」という書き出しで始まります。読んだことがあるでしょうか。福沢諭吉が明治5年4月から同9年11月にかけて記した17編から成る「学問のすすめ」です。

福沢は冒頭の一文において、「人間には上下がなく、みんな平等につくられている」と言い、しかし、そのすぐあとに、「されども今、広くこの人間世界を見渡すに、かしこき人あり、おろかなる人あり、貧しきもあり、富めるもあり、貴人（きじん）もあり、下人（げにん）もありて、その有様（ありさま）雲と泥との相違あるに似たるはなんぞや」と言っている。なぜ、このように大きな格差があるのか？福沢は続けて、『実語教』に、人学ばざれば智（ち）なし、智なき者は愚人（ぐじん）なりとあり。されば賢人（けんじん）と愚人との別は学ぶと学ばざるとによりてできるものなり」と言っています。つまり、賢き人とそうでない人との差は、学ぶか学ばないかによって生まれるものだという事なのです。

ちなみに、『実語教』とは、平安時代の終わり頃にできたとされるもので、鎌倉時代から明治にかけて、子どもたちの教育に使われ、江戸時代は寺子屋で教科書となりました。なぜ、『実語教』がそれほど大切にされていたかということ、この中に人間が生きていく上で欠かせない大切な知恵や教えが詰まっていたからです。学ぶことの大切さ、両親・先生・目上の人への礼儀、兄弟・友人・後輩との付き合い方などについて、わかりやすく書いてありました。これを読んでおけば、自然と立派な大人になれるようになっていたのです。

話を「学問のすすめ」に戻します。この本が出された頃の日本は、武家社会が終わりを告げ、西洋の先進諸国の脅威にさらされつつ、そこに追いつくために必死でした。「学問のすすめ」は、日本が近代化を進める必要性を説き、国民の気持ちを鼓舞しました。内容が若干、実学の有用性のみを主張している部分は気になるところですが、それでも学ぶことにより、物の見方や生き方、人間性を含めた、己の価値を高めていくことができることを説いている点において、素晴らしい本と言えます。

さあ、もうすぐ冬休みに入りますが、2学期の復習を中心に、学力や自分自身を向上させるために、目標と計画を立て、学習に励みましょう。それから、学習にしっかり取り組むために、生活のリズムを崩さず、体調管理をしっかり行ってください。

令和8年1月15日（木）の始業式では、冬休み中の達成感や新しい年への決意に満ちあふれた素敵な笑顔の生徒達に会えることを楽しみにしています。



全学年参観日

12月12日(金)は参観日でした。5校時に全クラスの授業を公開しました。

2学年では学年PTA主催の親子レクを企画していましたが、インフルエンザ等の感染症の感染防止のため中止としました。



Café de Takachu

授業参観・学年懇談後に、Cafe de Takachuを開催しました。席もトーク内容もフリーで1時間ほど会話を楽しみました。途中、作品展の投票を行うなど、参加者同士の交流も深まりました。

・部活動地域展開については情報か少なく不安が多い！
・給食のおかわりシステムについて、クラスで話し合ってみてはどうか！
・かつてあった写生会のような行事がなくなっている！
・修学旅行の様子を写真で送ってほしい！
・参観日の駐車場に入れなかった！
・家庭でも問題集の見本が見たい！など、いろんな要望もありました。



赤い羽根共同募金を 社会福祉協議会へ

12月5日(金)、生徒会が呼びかけて集めた募金を、生徒会長辻本大斗さんから鷹栖町社会福祉協議会へ渡しました。



学校閉庁日

冬季休業期間における学校閉庁日を次のとおり設定しますので、保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

- 1 学校閉庁日
令和7年12月29日(月)
～令和8年1月3日(土)の6日間
- 2 緊急連絡先 鷹栖町教育委員会
電話：87-2028

※学校閉庁日を含む長期休業中に、お子様が事故に遭遇した場合や入院を要する病気にかかった場合は、学校（学校閉庁日は鷹栖町教育委員会、土日祝日は鷹栖町役場87-2111）へご連絡ください。

日本教育公務員弘済会 学校図書助成贈呈式

12月2日(火)に学校図書の贈呈がありました。日本教育公務員弘済会北海道支部の学校図書助成事業に図書担当が応募したところ、事業決定校に選出されました。

今後は担当の方でリストの中から選定していきます、早ければ来年2月頃には新刊を読むことができるかと思えます。



1月の行事予定

- 11日(日) 鷹栖町「はたちのつどい」
北海道中学校XC大会
- 12日(月) 祝日：成人の日
- 15日(木) 3学期始業式
3年定期テスト
- 16日(金) 常任委員会
- 18日(日) たかすオオカミの里北野クワン大会
- 19日(月) 2年スキー授業
- 21日(水) 全校集会
- 23日(金) 1年スキー授業、英語検定
- 26日(月) 2年スキー授業
- 30日(金) 新入学説明会